

冬道の交通事故防止

今年は、比較的降雪量が少ない冬ですが、成人の日前後に、まとまった雪が降り、県内でスリップによる交通事故が多発しました。

積雪、路面が凍結している道路では、スピードを控え、車間距離を長めにとるなどして、交通事故を防止しましょう。

重要

劣化したスタッドレスタイヤは使用しない
スタッドレスタイヤは、走行距離が少なくても
経年劣化でゴムが堅くなりグリップが低下します



◇ 発進するときは「タイヤの空回り」に注意！

- 積雪や凍結路面では、乾燥路面と同じような操作をするとタイヤが空回りする「空転スリップ」が発生します。
- 発進時は、**アクセルをじわり**と踏み込む。ATのスノーモードやMTの2速発進も有効です。

◇ スリップ事故はブレーキの操作ミスが原因の場合が多い！

- 早めのブレーキ操作を心掛け、**ペダルをソフト**に踏み込み、タイヤのロックを防止しましょう。 **※ABSスイッチを切らない**

◇ ハンドルを操作するときはブレーキやアクセルをゆるめる！

- 右折や左折時にブレーキを踏み込んで減速しながらハンドルを切ると、横滑りやスピンの危険性が高まります。
十分に減速してからハンドルを切りましょう。

スピードは控えめにする

橋の上やトンネルの出口、交差点などでの路面凍結に注意

車間距離は長めにする

思った以上に止まりません

出発は早めにする

雪が降ると渋滞が発生しイライラが募り、事故の原因になる

『 冬道の安全運転 1・2・3 運動 』

1割のスピードダウン **2倍**の車間距離 **3分**早めの出発

冬道の交通事故防止のポイント



冬道の安全運転1・2・3運動

1割 のスピードダウン

2倍 の車間距離

3分 早めの出発

冬道の走行時は、積雪、凍結等による滑走事故の多発が懸念されることから、安全な速度、車間距離の保持、早めの出発を実践・習慣化しましょう。

滑走事故防止3原則

急 ブレーキをかけない

急 ハンドルを切らない

急 加速しない

特に注意が必要な道路状況

いずれも凍結しやすいポイントです。危険な場所の手前であらかじめ減速しておくことが大切！

そのためには



ことが重要です



橋



カーブ



トンネル出口

出発前の注意点

- 窓ガラスが凍結したまま出発しない！
- ルーフやヘッドライト、ブレーキランプ、サイドミラーの雪も必ず除去！

この状態で安全運転できますか？



フロントガラスが凍結したまま



走行中にルーフの雪がフロントガラスに落ちてきたら…

バイク・自転車での外出は危険

積雪、凍結時、また降雪が予想される場合は、事故防止のため、バイクや自転車の利用を自粛しましょう。



車道を歩くのは危険

車道は、積雪等により車両が滑走してくるおそれがあり大変危険です。積雪等で歩道が歩きにくい場合でも、車道を歩くのはやめましょう。

